



山  
雲



たのむ

いのち

○ しんがた はつしん のり のり

○ きん のり のり のり

○ あま のり のり のり

○ あま のり のり のり  
のり のり のり のり

○ あま のり のり のり

○ あま のり のり のり

○ あま のり のり のり

Notes on the ...

Ex 0 111

~~Ex 0 111~~

... of ...

*Symonides of Ceos*

花のふよめる桜あつきの  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも

女二首

橋のたもとにありて  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも

二人静

木の芽をちりあふ  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも  
あつたもあつらふおつたも

一三編

此の書は...  
...の...  
...の...

秋葉の窓の...  
...の...  
...

内裏本の...  
...の...  
...

...の...  
...の...  
...

昔は...  
...の...  
...

東北

東山陰陽の時...  
...の...  
...

...

錦木

...  
...の...  
...

...  
...の...  
...

...

弱法師

今も...  
...の...  
...

...  
...の...  
...

石の名...  
...の...  
...

...  
...の...  
...

五段の間に...  
花の...の...

小堀は...  
あ...  
む...

菅刈

溪の...  
は...  
難波の...  
紫...  
花...

芭蕉

淮...  
の...  
因...

回

花...  
花...

通六回

やうな事でも出来ぬ事  
うらやまの心持の事

松虫

因てて其の友さうや市人の  
救ふ我の由き人の由の  
事の面々

同

松虫の事さうな事でも出来ぬ  
事さうな事さうな事さうな事  
たうな事

野

浮世の神聖なる法の教へ乃  
道すゝまの事さうな事さうな事  
事さうな事

小堀

白ひみりな事さうな事さうな事  
事さうな事さうな事

同

隠しに敷いた紙のむすびは一人の

汁

白髪

花さそふ初めの山風吹きゆく僧  
ゆい舟のたぐり舟のいこりて  
おろくといふ原よりて天は唐  
海神流の山さかたなりあまはく  
白髪

同

二佛東西よりあふく舟の静か

今れ白髪より静か

畫久

君の海士の紫根山にゆるゆ

星月常とく福余りてあまら

同

花さけりて静か白髪はあま  
まことの舟使はなるといふあま  
隠しに敷くは福余りてあまら



ついでに...

四巻

...

同

...

...

...

花

...

...

同

...

...

同

...

...

...

...

いづれにせよ

かかきせいの海に守りこころして  
かかきせいの海に守りこころして  
かかきせいの海に守りこころして

善知馬

かかきせいの海に守りこころして  
かかきせいの海に守りこころして

船橋

かかきせいの海に守りこころして  
かかきせいの海に守りこころして  
かかきせいの海に守りこころして

同

かかきせいの海に守りこころして  
かかきせいの海に守りこころして  
かかきせいの海に守りこころして

from the ...  
of the ...

...  
...  
...  
...

同

...  
...  
...

隅田川

...  
...

同

...  
...  
...  
...  
...  
...

unligo EgeaswKeto

UweunwudBeinZifun

〜

同

庭も藤とそれとあゝ草のこぼる

草村の家の家いともいへ物

〜

蟬丸

松虫の巻巻る鳴るの路の山科の

里人かとうもあゝねあれとん

〜

夕顔

昔年の巻巻るうらやねの巻

〜

〜

あゝ草のあゝとあゝあゝあゝ

〜

同

~~~~~

いまゆくゝるよ新く西のふたへん  
横子折枝折と去る人ゆく奥と  
逢う〜笑はしくも信よ無慮と  
しゆく〜もとちとあへん

同

清くよりのつひの程ま〜んごの夢  
あきき〜意おものおひとが満くと  
かき舟の梅ね〜そ花の情をれそ  
よこまごのゆあ〜人よ一車とま  
そあそな〜あ〜ん〜らりまよふ  
いそよあ〜きそのちのあはれと  
いそ〜のあは〜れ〜ん〜

定家

あき〜る縁のいそ〜のあま〜れ  
ち〜ふ遠〜近の〜ら〜と〜越〜え  
ゆ〜ら〜ら〜と〜残〜る〜涙〜め〜と〜花〜の〜あ〜ま

海舟堂為佐の如く此の海舟  
に於て一舟の勢も舟の勢に在り

徳とくく

横川

横川をのちる原志をききて驚く  
かゝるまじいのみを捨ててく  
よのよきをわらわの海舟へ

同

風よよきてさき水と陸と隔を  
袂とひく一帯をさきくして死  
よありれば水と死とめて横川に  
なまよふ

海士

いとよおろく我々の舟りも船  
舟の家の後宮の口を舟りては  
や水をたおるの力をたかむ

鞍馬天狗

死にたがふ人々の舟りては

海之

こゝ桶まのきしきまの月の人  
たるく 焚くまの月を成  
一ツ 煎いわたるしきかのもの  
車は月をまきこくを思ひぬ  
怪なるあや

西行様

春のふとまてし 可なりかへはよの  
せつよちなる物とまぐ控へしよ  
けせのあはき花物とつくく井  
のふらぬ

鴨嶋小町

け分の扱てやまを帝の御秋を  
とひまのきまをむむ母の天の鳥  
いあへん和分の道かへん神と  
ゆゑありませまのたへて言  
位はまのこころあやまきと和秋の

この本は、*Handwritten text*  
*Handwritten text*

塩の次は強まったまう水いぬを  
*Handwritten text*  
その次は強まったまう水いぬを  
*Handwritten text*

同

*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*  
*Handwritten text*

同

*Handwritten text*



January 1 (Kaga) 1860

January 1 (Kaga) 1860

社名

紫のうへと山椒のうへを  
物とて今こそも精人  
むとて清のきよのくま  
川あふくま

當摩

城のけしきとて  
后との言ふやめ  
のあつた  
きりけ

松風

うらやまの  
そ水もす  
のいほ

松風村

新編

Shimon (in 1780) Nani

牛乳

今 通とく

楊貴妃

比母も友とてひ枝翹をかくし  
連理も枝打て思ふとこを  
因一山のけりあふ流のあふを  
ねむそとてたしめり

本賦

人の名もよほてき法のも  
いづれ酒のふとまてひらけ  
たしめり

京傳

山に松風まらあふとて  
まのあふよとて又浦のあふ  
よふら流とあふら久塔と  
あふらとすに枝とて家  
物産初とあふらとて

〜 海風抄

同

中よみ昔のよみは昔のよみは  
くしてよみよみよみのよみよみ  
あつひよりのよみのよみよみ  
のよみよみのよみよみよみ

同

歌多南枝よ葉とりを胡馬北  
風よよみよみよみよみよみ  
流の神恵の流よみよみよみ

三井寺

こき福そがらひ海の浪風巻  
舞あそ秋の流すよみよみよみ  
三井寺の精そよみよみよみ

志賀

実や今よみよみよみよみよみ  
くよみのよみよみのよみよみ

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

同

同

Handwritten text line.

Handwritten text line.

箴

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

同

Handwritten text line.

Handwritten text line.

同

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

護法

雜記

此處之山脈

極高而山脈之西

極高而山脈之西

區

此山脈之西

極高而山脈之西

區

此山脈之西

極高而山脈之西

極高而山脈之西

極高而山脈之西

坡

此山脈之西

極高而山脈之西

區

